

平成 29 年度

事業計画書

社会福祉法人 春献美会

デイ・ホーム たんぽぽ



平成 29 年度 デイ・ホーム たんぽぽ事業計画（通所介護）

1、 稼働率目標

① 地域密着型通所介護 稼働率 85%

1日の利用者数 6人

下半期 日曜日営業開始

② 総合事業 稼働率 70%

土曜日に利用者数 2名→5名へ拡大

通所介護	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	20日	23日	22日	21日	23日	21日	22日	22日	21日	20日	20日	22日	257日
100%	140人	161人	154人	147人	161人	147人	154人	154人	147人	140人	140人	154人	1,799人
85%	119人	137人	131人	124人	137人	124人	131人	131人	124人	119人	119人	131人	1,529人
総合事業	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
営業日数	5日	4日	4日	5日	4日	5日	4日	4日	5日	4日	4日	5日	53日
100%	7人	7人	7人	7人	7人	7人	7人	7人	7人	7人	7人	7人	84人
85%	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	5人	60人

2、 事業目標

「家庭的な雰囲気の中で、個々のレベルに合わせたサービスを提供する」

3、 利用者処遇

- ① ICF（国際機能分類）に基づいた個人分析を行い、個別計画書を作成し、個を知り、個に寄り添い、個の意思を尊重し、個々に適した活動の提供を実施する。
- ② 認知症中重度の利用者支援として、スタッフ全員が認知症の外部研修に参加し、認知症ケアについて学びを深める。

4、 個人情報保護、情報開示について

- ① 個人情報保護法に関する諸法令を遵守し保護に努める。また、利用目的を明確にし、適切に取り扱う。
- ② 事業内容は、季刊発行される「たんぽぽ新聞」を通じて公開する。
- ③ 6ヶ月に1回開催する運営推進会議にて、情報公開行う。
- ④ 12月に実施する「利用者満足度アンケート」の結果を3月の運営推進会議で公表する。

5、 健康管理

- ① 利用開始時に、体温・血圧・脈を測定し、健康チェックを行う。
- ② 感染症の発生や蔓延防止の為に、ホーム到着後はうがいと手洗いの徹底と空気が乾燥する時期は、こまめに換気を行い、空気の入替えをする。

6、 苦情解決への取り組み

- ① 苦情が発生した場合は、速やかな対応を行ない、信頼の回復に努める。
- ② 12月に利用者満足度アンケート実施し、利用者及び家族の満足度を調査する。

7、 防災対策について

- ① 各種想定に基づく通報・防災訓練を年2回以上実施する。
- ② 非常食・ラジオ・懐中電灯等の防災グッズの整備、危険場所の点検、防災器具の配置場所、使用方法の周知徹底を図る。

8、 ボランティア活動への取り組み

- ① ボランティアや個人の活動を積極的に受け入れる。
- ② 地域福祉を担う一員として、地域の活動にも積極的に参加する。

9、 行事計画

※別紙 年間計画書参照

10、 職員研修

- ① 研修計画に基づき、内外研修、外部研修を実施し、知識や技術を習得する。

※別紙 年間計画書参照

- ② 個々のスキルアップを図る。

平成29年度たんぽぽ年間計画表

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
施設行事	施設内行事 担当			セタ	ソーダ スイッチ	敬老会			クリスマス会	新年会	豆まき	雑祭り
	外出行事 担当	お花見	バラ	紫陽花			バラ	菊・紅葉		初詣	節分祭	雛人形 展
地域行事	運営推進会議					推進会議						推進会議
	防災訓練		避難訓練				消防訓練					
清掃関係	清掃								大掃除			
	車両管理			ハイエース		タント 定期点検						タント 定期点検
職員研修	内部研修 担当	倫理規程 法令遵守	緊急時対応	食中毒	プライバシー	事故発生 再発防止	非常災害時 の対応	身体拘束廃止	介護予防 要介護進行予防	認知症	認知症ケア	
	外部研修 参加者		小規模多機 能計画作成 研修	管理者研修								
	資格取得試験 受験予定者		豊住	小島			介護支援専門員		認知症ケア専門士 2次試験	介護福祉士 社会福祉士		
人事考課	目標設定				認知症ケア専門士 1次試験					○		自己評価シート